



新ブランド 菜園生活シリーズ

Q & A

種まき前・植え付け前 予防

土の殺菌・消毒に
広い範囲の病気に
優れた予防効果
効果長持ち!

土の中に潜む害虫をしっかり退治
ペーパーアクションで
土中に効きめ広がる
予防*効果長持ち

*害虫の被害防止を指す

種まき後・植え付け後 対処

野菜や花を土の中に潜む
ネキリムシから守る
誘い出し、食べさせて退治
一晩で効く

石原 フロンサイド®粉剤

殺菌剤

根こぶ病 苗立枯病 菌核病
白絹病 そうか病

家庭園芸用サンケイ ダイアジノン®粒剤3

殺虫剤

コガネムシ幼虫 ネキリムシ ウリハムシ幼虫

ネキリバイト®

殺虫剤

ネキリムシ



登録番号	農林水産省登録 第17559号
商品名	石原フロンサイド®粉剤
成分(含有量)	フルアジナム (0.50%)
性状	類白色粉末 45μm 以下
種類名	フルアジナム粉剤
容量	700g 入

登録番号	農林水産省登録 第19526号
商品名	家庭園芸用サンケイ ダイアジノン®粒剤3
成分(含有量)	ダイアジノン (3.0%)
性状	淡黄赤色細粒
種類名	ダイアジノン粒剤
容量	700g 入

登録番号	農林水産省登録 第23683号
商品名	ネキリバイト®
成分(含有量)	ペルメリン (0.10%)
性状	淡赤色粒状 径 3mm 長さ 3~10mm
種類名	ペルメリン粒剤
容量	600g 入

(ネキリバイトは住友化学園芸株の登録商標)

CONTENTS

石原フロンサイド® 粉剤

- Q1 石原フロンサイド® 粉剤の特長を教えてください。…………… 3
- Q2 石原フロンサイド® 粉剤の有効成分について教えてください。…………… 3
- Q3 登録内容を教えてください。…………… 3
- Q4 対象病害について教えてください。…………… 4
- Q5 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。…………… 5
- Q6 使用上の注意点があれば教えてください。…………… 5

家庭園芸用サンケイダイアジノン® 粒剤3

- Q1 家庭園芸用サンケイダイアジノン® 粒剤3の特長を教えてください。…………… 6
- Q2 家庭園芸用サンケイダイアジノン® 粒剤3の有効成分について教えてください。…………… 6
- Q3 登録内容を教えてください。…………… 6
- Q4 対象害虫について教えてください。…………… 7
- Q5 「ペーパーアクション」とはどのような効果ですか。…………… 7
- Q6 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。…………… 8
- Q7 使用上の注意点があれば教えてください。…………… 8

ネキリバイト®

- Q1 ネキリバイト®の特長を教えてください。…………… 9
- Q2 ネキリバイト®の有効成分について教えてください。…………… 9
- Q3 登録内容を教えてください。…………… 9
- Q4 対象害虫について教えてください。…………… 10
- Q5 ネキリバイト®の使い方のコツを教えてください。…………… 10
- Q6 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。…………… 11
- Q7 使用上の注意点があれば教えてください。…………… 11

はじめに

家庭菜園で問い合わせの多い病害虫はアブラムシ、アオムシ、うどんこ病など、目につきやすく、葉や茎など地上部に被害を及ぼす病害虫が代表的です。しかし、近年問い合わせが増えてきているコガネムシ類幼虫やネキリムシ、あぶらな科野菜の根こぶ病、じゃがいものそうか病など、植物の地下部(根)や幼苗に被害を及ぼす病害虫の存在も見逃すことはできません。これらの病害虫には種まき前・苗の植え付け前の害虫予防*や土の殺菌・消毒及び種まき後・植え付け後の対策が重要になります。この度、菜園生活シリーズとして新たにラインナップされた**石原フロンサイド® 粉剤(殺菌剤)**、**家庭園芸用サンケイダイアジノン® 粒剤3(殺虫剤)**、**ネキリバイト®(殺虫剤)**は、様々な土壌病害虫の対策に効果を現す殺菌剤と殺虫剤を使いやすいパウチ容器でデザイン統一した商品です。これまで見落としがちだった土壌病害虫に改めて目を向け、大切な苗を守るためにお役立ていただきたい新しい提案です。

※害虫の被害防止を指す

◆土壌病害虫の対策は種まき前・植え付け前～種まき後・植え付け後にかけてが防除適期です。

						
栽培ステージ	種まき前・植え付け前	種まき後・植え付け後	生育初期	生育中期～後期	収穫期	
石原フロンサイド® 粉剤	←→					
家庭園芸用サンケイダイアジノン® 粒剤3	←→					
ネキリバイト®		←→				

※注意:使用時期は各薬剤の適用作物ごとに異なります。



石原フロンサイド® 粉剤

Q1 石原フロンサイド® 粉剤の特長を教えてください。

A1 石原フロンサイド® 粉剤の特長は次のとおりです。

- 土に混ぜたり、株元に散布する(ねぎ、にら、らっかせい)だけで、土の殺菌・消毒ができる土壌殺菌剤です。
- あぶらな科野菜の根にコブができる根こぶ病をはじめ、キャベツの苗立枯病や菌核病、ねぎの白絹病、ばれいしょのそうか病など広範囲の病害にすぐれた予防効果があります。
- 効果が持続し、長期間にわたって根こぶ病の被害を抑えます。

Q2 石原フロンサイド® 粉剤の有効成分について教えてください。

A2 石原フロンサイド® 粉剤の有効成分は次のとおりです。

フルアジナム

浸透移行性や治療効果はありませんが、残効性や耐雨性があり予防効果にすぐれます。病原菌の孢子発芽阻害、付着器形成阻害、付着器から伸びる菌糸の植物体への侵入防止、菌糸伸長阻害、孢子形成阻害などの作用があります。

Q3 登録内容を教えてください。

A3 石原フロンサイド® 粉剤の適用作物は野菜が中心です。対象病害はキャベツの根こぶ病、ばれいしょのそうか病、ねぎの白絹病などの土壌病害です。使用方法は主に種まきや苗の植え付け前に土に混ぜ込んで使います。

適用病害と使用方法

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。











作物名	適用病害名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
キャベツ	根こぶ病	15～20g/m ² (15～20kg/10a)	は種 又は 定植前	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)	作条土壌混和
	苗立枯病(リゾクトニア菌)、 菌核病	30～40g/m ² (30～40kg/10a)			全面土壌混和
はくさい	黄化病	40g/m ² (40kg/10a)		本剤:1回 フルアジナム:2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)	作条土壌混和
	根こぶ病	30～40g/m ² (30～40kg/10a)			
カリフラワー、 ブロッコリー、なばな	根こぶ病	15～20g/m ² (15～20kg/10a)		1回	全面土壌混和
なばな類 (なばな、みずかけなを除く)、 メキャベツ、かぶ		30～40g/m ² (30～40kg/10a)			
非結球あぶらな科葉菜類 (ただし、ケール、こまつな、 みずな、みぶな、のざわな を除く)					
こまつな	根こぶ病、 立枯病(リゾクトニア菌)	30g/m ² (30kg/10a)	は種前		
みずな、みぶな	根こぶ病				

作物名	適用病害名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
のざわな	根こぶ病	30~40g/m ² (30~40kg/10a)	は種 又は 定植前	1回	全面土壌混和
みずかけな		20g/m ² (20kg/10a)			作条土壌混和
		40g/m ² (40kg/10a)			作条散布
ばれいしょ	そうか病、 粉状そうか病	30~40g/m ² (30~40kg/10a)	植付前	本剤:1回 フルアジナム:6回以内 (種も浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和は1回以 内、散布は4回以内)	全面土壌混和
レタス、非結球レタス	すそ枯病、 ビッグベイン病	30g/m ² (30kg/10a)	は種 又は 定植前	本剤:1回 フルアジナム:2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)	
ねぎ	白絹病、小菌核腐敗病	15g/m ² (15kg/10a)	土寄せ時 但し収穫21日前 まで	2回以内	株元散布
にら	白絹病	20g/m ² (20kg/10a)	収穫30日前まで	1回	
らっかせい			収穫45日前まで		
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	30~40g/m ² (30~40kg/10a)	は種前	本剤:1回 フルアジナム:7回以内	全面土壌混和
チューリップ	葉腐病		植付前		
	条斑病、 微斑モザイク病	40g/m ² (40kg/10a)	定植前	本剤:1回 フルアジナム:3回以内	
ゆり	茎腐症 (リゾプス菌による)				
てんさい	叢根病	育苗培土1kg当り 5~10g	は種前	本剤:1回 フルアジナム:5回以内 (は種前の土壌混和及び苗 床灌注は合計1回以内、株 元散布は4回以内)	土壌混和

Q4 対象病害について教えてください。

A4 石原フロンサイド® 粉剤は、様々な土壌病害に効果のある、総合土壌殺菌剤です。

対象病害の例

根こぶ病 	そうか病 	白絹病 	菌核病 	黄化病 
はくさい	ばれいしょ	ねぎ	キャベツ	はくさい
すそ枯病 	小菌核腐敗病 	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌) 	ビッグベイン病 	微斑モザイク病 
レタス	ねぎ	だいこん	レタス	チューリップ

石原フロンサイド® 粉剤の対象病害

分類	病害名	解説
糸状菌	根こぶ病、粉状そうか病、白絹病、菌核病、黄化病、すす枯病、小菌核腐敗病、苗立枯病(リゾクトニア菌)、亀裂褐変症(リゾクトニア菌)、茎腐症(リゾープス菌)	カビの仲間、植物の病気、特に家庭園芸で問題になる病気の大多数は糸状菌によって起きます。被害症状は葉枯れ、斑点、斑紋などの変色、肥大、こぶ、萎縮などの変形、腐敗するなど病原菌の種類によって様々です。
放線菌	そうか病	放線菌は広い意味で細菌の一種ですが、細胞が糸状につながっていたり、胞子をつくるなど他の一般細菌とは異なる特徴を持つ微生物です。
ウイルス	ビッグベイン病、微斑モザイク病、条斑病、叢根病	ウイルス病、モザイク病などと呼ばれています。被害症状は葉色が濃淡のモザイク状、斑点、さらに株全体が萎縮したりします。

Q5 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。

A5 石原フロンサイド® 粉剤の安全性に関するデータは下記の通りです。参考にしてください。

<ul style="list-style-type: none"> ●人畜毒性:普通物相当(※1) ●急性経口毒性(※2) LD₅₀ ラット♂♀、マウス♂♀ > 5000mg/kg ●急性経皮毒性(※3) LD₅₀ ラット♂♀ > 2000mg/kg ●眼刺激性 刺激性なし(ウサギ) ●皮膚刺激性 刺激性なし(ウサギ) ●皮膚感受性 中程度の感受性あり(モルモット) ●水産動植物に対する影響 <ul style="list-style-type: none"> ・コイ LC₅₀ (96h)(※4) 31.7mg/L ・オオミジンコ EC₅₀ (48h)(※5) 50.2mg/L ・藻類 ErC₅₀ (72h)(※6) 175mg/L 	<ul style="list-style-type: none"> ※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。(普通物は毒物に該当しないものを指すという通称です。) ※2 LD₅₀: 半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当りの薬物重量(mg/kg、μg/g)で表す。(毒物:LD₅₀値 50mg/kg以下、劇物:LD₅₀値 50mg/kgを超え300mg/kg以下) ※3 (毒物:LD₅₀値 200mg/kg以下、劇物:LD₅₀値 200mg/kgを超え1000mg/kg以下) ※4 LC₅₀: 半数致死濃度。薬物を接触させたり、投与する実験で、50%の個体を死に至らせる薬物濃度。 ※5 EC₅₀: 一定条件下で供試生物の50%に何らかの影響(生育阻害、遊泳異常など)を起こさせる薬物濃度。 ※6 ErC₅₀: 一定条件下で供試生物の50%に生育阻害を起こさせる薬物濃度。
---	---

Q6 使用上の注意点があれば教えてください。

A6 石原フロンサイド® 粉剤の使用上の注意事項は次のとおりです。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 砕土をよく行った後、所定量の薬剤を均一に散布し、土壌と十分混和してください。なお、降雨直後の処理はしないでください(混和むら)。
- 根こぶ病を対象に多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用してください。
- はくさいの黄化病、ばれいしょのそうか病、粉状そうか病、キャベツの苗立枯病(リゾクトニア菌)、菌核病、レタスのビッグベイン病に対する全面土壌混和及びねぎの小菌核腐敗病に対する土寄せ時株元散布は、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意してください。
- レタスの茎葉に多量にかかると薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合は注意して散布してください。
- みずかけな使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2ヵ月以降を厳守してください。
- てんさいに使用する場合、誤って多量に処理すると初期生育が抑制されるおそれがあるので適用薬量の範囲を厳守してください。
- 使用量、使用時期、使用方法などを守ってください。本剤を適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

安全使用上の注意 **マスク着用**

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 使用時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 桑葉にかからないように注意してください(蚕毒)。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- 苗床で使用し、その苗を採苗、定植する場合には、必ず手袋を着用して作業を行い、直接苗に触れないよう注意してください。
- 使用後の空容器は良くたたいて中身を完全に出してから処理してください。



家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3

Q1 家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3の特長を教えてください。

A1 家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3には次のような特長があります。

- 本剤は土の中に潜むコガネムシ幼虫やネキリムシだけでなく、きゅうりやかぼちゃのウリハムシ幼虫も退治する土壌害虫の殺虫剤です。
- 接触効果だけでなく、ベーパーアクションにより殺虫成分が土の中に広がって効果的に害虫を退治します。
- 土に混ぜるだけで効きめが続き(コガネムシ幼虫で3~4週間)、植物の根を害虫の食害からしっかり守ります。

Q2 家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3の有効成分について教えてください。

A2 家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3の有効成分は次のとおりです。

殺虫成分 ダイアジノン

有機リン系の殺虫剤です。接触効果、食毒効果に加えベーパーアクションで土の中に成分が広がり、土壌中で効果的に作用します。対象害虫は幅広く、コウチュウ目(コガネムシ幼虫、ウリハムシ幼虫)、チョウ目(ネキリムシ)、ハエ目(タネバエ、タマネギバエ)、バッタ目(ケラ、コオロギ)など様々なタイプの害虫に幅広く効果があります。

Q3 登録内容を教えてください。

A3 家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3には多くの野菜に適用があります。

適用害虫と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数**	使用方法
レタス	ケラ、ネキリムシ類	6~9g /㎡	は種時 又は植付時	2回以内	土壌混和
	コガネムシ類幼虫		植付前		
キャベツ	ケラ、ネキリムシ類、 コガネムシ類幼虫		収穫30日前 まで	本剤:2回以内 ダイアジノン:2回以内 (粒剤の生育期の処理は1回以内)	
カリフラワー、 ブロッコリー		本剤:1回 ダイアジノン:3回以内 (生育期は2回以内)			
トマト、ピーマン、 とうがらし類		6~8g /㎡	植付時	本剤:1回 ダイアジノン:3回以内 (粒剤の生育期の処理は2回以内)	
なす	本剤:1回 ダイアジノン:2回以内				
きゅうり	タネバエ、ケラ、 ネキリムシ類、 ウリハムシ幼虫、 コガネムシ類幼虫	本剤:1回 ダイアジノン:4回以内 (粒剤の生育期の処理は3回以内)			
すいか、メロン、 かぼちゃ		本剤:1回 ダイアジノン:2回以内			
ねぎ、わけぎ、 あさつき	タネバエ、 コガネムシ類幼虫				
たまねぎ	タネバエ、タマネギバエ、 コガネムシ類幼虫、 ケラ、コオロギ				

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数**	使用方法
はくさい	ケラ、ネキリムシ類、コガネムシ類幼虫	6g /㎡	は種時	1回	土壌混和
だいこん、はつかだいこん	ケラ、ネキリムシ類、タネバエ、コガネムシ類幼虫	6~8g /㎡		本剤:1回 ダイアジノン:2回以内 (生育期は1回以内)	
豆類(種実)	ケラ、タネバエ、コガネムシ類幼虫			本剤:1回 ダイアジノン:だいたいは6回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は5回以内 (生育期の処理は4回以内))、あずきは4回以内(種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内)、いんげんまめは3回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)、らっかせいは1回、上記以外の豆類(種実)は4回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)	
かんしょ	コガネムシ類幼虫	6~9g /㎡	植付前 及び 収穫30日前 まで	本剤:3回以内 ダイアジノン:3回以内 (マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)	
	ケラ、ネキリムシ類		植付前	本剤:1回 ダイアジノン:3回以内 (マイクロカプセル剤の植付前の処理は1回以内、マイクロカプセル剤の散布は2回以内、粒剤の散布は2回以内)	
ばれいしょ				本剤:1回 ダイアジノン:3回以内 (植付前の土壌混和は1回以内)	

Q4 対象害虫について教えてください。

A4 家庭園芸用サンケイダイアジノン®粒剤3の主な対象害虫は以下のとおりです。

コウチュウ目	チョウ目	ハエ目	バッタ目
コガネムシ幼虫	ネキリムシ	タマネギバエ	ケラ
			
マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイなどの幼虫。幼虫は主に野菜や草花の根を食害し、成虫はバラ、果樹、庭木などの花や葉を食害する。	カブラヤガ、タマネギヤガなど茎を食害するヤガ(夜蛾)の幼虫の総称で、地際の茎を食害して植物を倒す。	名前の通り幼虫がタマネギ、ラッキョウ、ニンニクなどの茎に食入するハエの幼虫です。	畑など土中に穴を掘って生活している。成虫、幼虫ともに雑食性で植物の根・種子、昆虫、ミミズなどを食べる。初夏の夜に地中から「ジー」と聞こえるのがケラの鳴き声です。

Q5 「ベーパーアクション」とはどのような効果ですか。

A5 「ベーパーアクション」とは、有効成分が土壌中で広がり効果が行きわたることを表現するための言葉です。土の中にいて見つけにくい土壌害虫を効果的に退治するための作用です。地上の害虫では薬剤を散布して退治することがイメージしやすいですが、土の中の害虫はどのように退治されるのか想像しにくいので、今回、この表現を使っています。

Q6 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。

A6 家庭園芸用サンケイダイアジノン[®]粒剤3の安全性に関するデータは下記の通りです。参考にしてください。

●人畜毒性:普通物相当(※1)	
●急性経口毒性(※2)	LD ₅₀ ラット♂ 4021mg/kg、♀ 5301mg/kg マウス♂ 2051mg/kg、♀ 3586mg/kg
●急性経皮毒性(※3)	LD ₅₀ ラット♂♀ >2000 mg/kg
●眼刺激性	刺激性あり(ウサギ)
●皮膚刺激性	刺激性なし(ウサギ)
●皮膚感作性	陰性(モルモット)

※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。(普通物は毒劇物に該当しないものを指している通称です。)

※2 LD₅₀:半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当りの薬物重量(mg/kg、μg/g)で表す。(毒物:LD₅₀値 50mg/kg以下、劇物:LD₅₀値 50mg/kgを超え300mg/kg以下)

※3 (毒物:LD₅₀値 200mg/kg以下、劇物:LD₅₀値 200mg/kgを超え1000mg/kg以下)

Q7 使用上の注意点があれば教えてください。

A7 家庭園芸用サンケイダイアジノン[®]粒剤3の使用上の注意事項は次のとおりです。

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用薬量は全面処理の場合の薬量なので、植え溝にまくなど一部しか処理しない場合は処理面積に応じて処理薬量を減らしてください。
- は種時、植付時、植付前に土壌全面又は植え溝に処理し、土壌とよく混ぜ合わせてください。
- コガネムシ類幼虫に対して作物の生育期に使用する場合は植え溝に処理し軽く混和してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

安全使用上の注意 **マスク着用**

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 取扱には十分注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた時は直ちに医師の手当を受けてください。
- かぶれやすい人は取扱に十分注意してください。
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう、また眼に入らないように注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。
- ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- 散布中又は散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように注意してください。
- 使用後の空袋は良くたたいて中身を完全に出してから処理してください。



ネキリバイト®

Q1 ネキリバイト®の特長を教えてください。

A1 ネキリバイト®の特長は次のとおりです。

株元にばらまくだけで土の中に潜むネキリムシを誘い出し、食べさせて退治します。効果は速効性で、植え付け後や発芽後の作物を害虫から守るので、被害防止に有効です。

Q2 ネキリバイト®の有効成分について教えてください。

A2 ネキリバイト®の有効成分は次のとおりです。

ペルメトリン

ペルメトリンはピレスロイド系の殺虫成分です。摂食や直接散布により作用します。昆虫の末梢神経または中枢神経の軸索あるいはシナプスに作用し、神経伝達の異常興奮やけいれんを引き起こすことで麻痺により退治されます。いわゆるノックダウン効果による速効性が特長です。

Q3 登録内容を教えてください。

A3 ネキリバイト®はネキリムシの専門薬ですが対象作物は43作物(2015年10月現在)と幅広いので、少量多品種で栽培する家庭菜園での使用に便利です。


適用害虫と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数**	使用方法
花き類・観葉植物	ネキリムシ類	3g/m ²	生育初期	6回以内	株元散布
はくさい、ごぼう			は種時～生育初期	5回以内	
だいこん				4回以内	
オクラ				3回以内	
キャベツ、レタス、ブロッコリー、カリフラワー、ピーマン、いちご、たまねぎ、かんしょ、やまのいも、さといも、かぼちゃ			生育初期	5回以内	
なばな類、ねぎ、わけぎ、あざつき、豆類(未成熟)、そらまめ、だいず、きゅうり、なす、トマト				3回以内	
ミニトマト				1回	
とうもろこし、ばれいしょ				4回以内	
ほうれんそう、しゅんぎく				2回以内	
にんじん				5回以内	
もりあざみ				3回以内	
エンサイ			2回以内		
葉しょうが			生育初期 但し 収穫30日前まで	4回以内	
しょうが				定植時～発芽期 但し 収穫120日前まで	
エンダイブ			定植時 但し 収穫21日前まで	2回以内	
かぶ			収穫3日前まで	4回以内	
にら、にら(花茎)				3回以内	
アスパラガス、パセリ			収穫前日まで	2回以内	
とうがらし類			収穫開始7日前まで		

Q4 対象害虫について教えてください。

A4 **ネキリバイト®**はネキリムシ退治の専門薬です。

チョウ目	
ネキリムシ類	
カブラヤガ、タマナヤガなど「夜蛾」の幼虫の総称。幼苗の地際部の茎をかじり倒し、根が切られたかのような被害症状からその名で呼ばれる	

幼虫が茎をかじる様子

ネキリムシ(カブラヤガ)の発生サイクル



Q5 **ネキリバイト®**の使い方のコツを教えてください。

A5 ネキリムシは夜行性なので、使用する際のタイミングは夕方です。夕方に株元散布しておくことで、夜のうちに誘い出して食べさせて、一晩で退治されます。

また、一カ所に集中してばらまくのではなく、株元に均一に散布することで効率よく誘引退治できます。

Q6 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。

A6 ネキリバイト®の安全性に関するデータは下記の通りです。参考にしてください。

●人畜毒性:普通物相当(※1)		※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。(普通物は毒劇物に該当しないものを指している通称です。)
●急性経口毒性(※2)	LD ₅₀ ラット♂8221mg/kg ラット♀6642mg/kg	※2 LD ₅₀ : 半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当りの薬物重量(mg/kg、μg/g)で表す。(毒物:LD ₅₀ 値 50mg/kg以下、劇物:LD ₅₀ 値 50mg/kgを超え300mg/kg以下)
●急性経皮毒性(※3)	LD ₅₀ ラット♂♀ >2500 mg/kg	※3 (毒物:LD ₅₀ 値 200mg/kg以下、劇物:LD ₅₀ 値 200mg/kgを超え1000mg/kg以下)
●眼刺激性	弱い刺激性	※4 LC ₅₀ : 半数致死濃度。薬物を接触させたり、投与する実験で、50%の個体を死に至らせる薬物濃度。
●皮膚刺激性	刺激性なし	※5 EC ₅₀ : 一定条件下で供試生物の50%に何らかの影響(生育阻害、遊泳異常など)を起こさせる薬物濃度。
●皮膚感受性	陰性(モルモット)	※6 ErC ₅₀ : 一定条件下で供試生物の50%に生育阻害を起こさせる薬物濃度。
●水産動植物に対する影響		
・コイ	LC ₅₀ (96h) (※4) 0.04mg/L	
・オオミジンコ	EC ₅₀ (48h) (※5) 0.0027mg/L	
・藻類	ErC ₅₀ (72h) (※6) 8.1mg/L	
	(ペルメトリン20%水和剤)	

Q7 使用上の注意点があれば教えてください。

A7 ネキリバイト®の使用上の注意事項は次のとおりです。

効果・薬害等の注意

- つまみ菜、間引菜には使用しない。
- 作物体上から作物の地際の表面に散布してください。
- 使用量、使用時期、使用方法などを守ってください。本剤を適用作物群に属する作物又はその新品種に使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

安全使用上の注意 蚕注意

- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- 誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた時は、直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布時は、マスク、手袋などを着用してください。粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 犬、猫などのペット類や家畜、家禽等が誤食するおそれがあるので、食べる可能性のある場所での保管及び使用はしないでください。
- 蚕に長期間毒性があるので、付近に桑園がある所では使用しないでください。
- ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- 使用後の空容器は良くたたいて中身を完全に出してから処理してください。



あしたを育てる。

住友化学園芸株式会社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1-8
●商品についてのお問い合わせ先 TEL:03(3663)1128
(9:30~12:00/13:00~16:30/土、日、祝日を除く)

住友化学園芸ホームページ

～ガーデニング・園芸・家庭菜園・くらしの情報サイト～

eグリーンコミュニケーション

• e-green communication •

www.sc-engei.co.jp

この印刷物の記載内容は2015年10月現在の内容です。

15.11.01